

現在「さざなみ」では、学芸会での発表に向けて防災について学習を進めています。学習の一環として南浦地区の愛育委員の皆さんと自主防災会の皆さんが作成された「防災情報を取り入れたウォーキングマップ」をもとに、学区内を歩く防災ウォークを実施しました。自分たちの疑問を確かめることができ、学習を深めました。一緒に歩いてくださった自主防災会や愛育委員の方々のお話から、災害時の危険性を再確認したり、被害を軽減するための地域の方々の工夫を学ぶこともできました。

自主防災会の方から「子どもたちが、このように高い意識をもってく

七神社  
海拔の確認 23m



防災定点カメラ  
玉島テレビの画面で確認



高台の道  
海を眺めて高さを実感



防潮堤  
水門・樋門・陸閘・分水栓の役割や管理について  
防潮堤ができるまでの経緯について  
フレアー護岸の構造についてなど  
丁寧に説明をしていただきました。



南浦憩いの家  
土砂崩れの際の避難場所はここです。  
平成16年台風16号による浸水被害について  
説明していただきました。



南浦公園  
防災無線塔を確認しました。津波が来る  
かもしれないとき、ここから海蔵寺までど  
れくらい時間がかかるか計りました。



海蔵寺  
海拔の確認 30m



たくさんの方の努力と工夫によって、南浦の安全が守られていることがとてもよくわかりました。台風時には、高潮に備えて、それぞれの水門を守ってくださる方がおられ、夜中でも作業をしてくださっていることにも驚きました。子どもたちなりに、地域の一員としての意識を高め、自分には何ができるかを考えてくれることを期待しています。

今後30年以内にマグニチュード8~9クラスの南海トラフ地震が70%~80%の確率で起こると予想されています。ご家庭でも、これを機会に防災について話をしたり、備えを確認したりしていただければと思います。